

令和3年12月 定例教育委員会会議録

令和3年12月23日（木）

山梨市教育委員会

令和3年12月 定例教育委員会 議事録

令和3年12月23日(木)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議事
 - ① 令和4年度予算について
 - ② その他
- 4 閉会

○出席者

教育長	澤田 隆雄
教育長職務代理者	矢野 眞由美
教育委員	佐野 千春
教育委員	武井 茂
教育委員	窪田 新治

○欠席者

なし

○事務局職員出席者

生涯学習課長	中村 直喜
学校教育課 指導主事	岩下 秀人
学校教育課 学校教育担当リーダー	星野 正裕
学校教育課 学校総務担当リーダー	小池 かおり

○議事録作成者

学校教育課	小田切 咲紀
-------	--------

3 議事の内容

司会 小池リーダー

議事の進行を教育長お願いします。

教育長

議事に入らせていただきます。

(1) 令和4年度予算について、事務局から説明をお願いします。

星野リーダー 資料に基づき説明

教育長

何かご質問ご意見はありますか。

矢野委員

よくわかっていないので質問したいのだが、例えば来年中学校にプログラミングを教える部活を検討してほしい場合、予算要望をすることになるのか。

教育長

来年に何かをしたいという場合は、当初予算で要求する必要があります。

星野リーダー

学校の予算については、只今説明したものと別枠で学校長から要望が出されています。部活動に関するお金となると校長先生の裁量で出てくることとなりますが、教育委員会からこういう活動をしてほしいと一律に依頼すると学校側では受け入れにくいようです。

矢野委員

なかなか要望が受け入れてもらえないのはそういう事情もあるのか。プログラミング教育をすることで才能を開花させる子どもたちがたくさんいると思う。本市の中学校は全員が部活動に入ることになっており、甲府市のようになくしたらどうかという提案は受け入れられなかった。せめて子どもたちが楽しめるようなITを活用した部活があれば、今ある部活に無理に入るよりもっと前向きに取り組めるのではないか。高校ではプログラミングの授業が始まっていると聞くので、中学校のうちに基礎的なことだけでもできればすごく良いと思う。

星野リーダー

現在GIGA端末の活用のために、ICTの利活用研究会として各学校から得意な先生方を集めて勉強会を行い、利用状況を報告していただいています。その中で、一人一台端末に音楽関連ソフトを入れてほしいという要望が出ており、自分で音楽を作るような授業の計画も出されています。普段の授業に力を入れるだけでなく利活用の幅を広げている学校もありますので、来年度ICT支援員が入ることで上手く情報共有していけるのではないかと考えています。

矢野委員

山梨市の特色ある教育という面でも、常に同じことをするのでなく、他校や他市の良い取り組みをすぐに取り入れて先生方に伝えることで、良い刺激になると思う。

岩下指導主事

プログラミング教育については、本市だけでなく国が主体となって推進している状況です。昨年度から小学生の段階で授業に取り入れることになっており、市では昨年度「Nボット」というロボットを20数台購入して学校に貸し出し、小学校5年生から教育に取り組んでいるところです。また、先日の新聞では山梨北中の取り組みが紹介されました。

矢野委員

そういったプログラミングのような部活動を一つ入れるだけで、部活参加を嫌がっている子どもたちも入りやすくなるかもしれない。不登校対策にもつながるのでぜひ検討してほしい。

教育長

各学校で新たな部活を作ってはどうかということですね。指導主事が話したように結構いろいろな取り組みを始めています。4月に一人一台端末が導入された初めは大変かと思いましたが、ICTの委員会の先生を中心にして本市では全学校で取り組むことができます。有用なソフトの追加も要望されていますので費用はかかりますが考えていきたいと思えます。

教育長

次に(2)その他、事務局から何かありますか。

事務局

ありません。

教育長

以上で議事を終了します。

議事終了